

女川レポート

チームしらかし華の会、TUWV OB、平塚高等職業技術校OB) 伊藤 健一

1. 女川現況 ~ 女川に行くべ~

(1) 定点観測

(2) 町中点描

(3) グルメスポット・癒しの場所

2. ボランティア報告

(1) 津波で残った林さん宅の調査(11/19)

(2) 女川桜守りの会

1) 日本花の会による大漁桜の手入れ(11/20)

2) 堆肥作り(11/19, 20)

3) さくらたん切り株を大和に(11/20, 21)

4) その切り株を京都へ(11/25, 26)

3. 今後の予定

1. 女川現況

(1) 定点観測： 旧福祉センターからの眺め

4月11日(2011年)



同じ場所からの
写真を、のべ9枚
撮ってます。

10月1日(2012年)



あちこちなくなる
写真が続き、
綺麗な更地に。

11月19日(2012年)



でも、今回は
おやっと思っ
ました。

朝8時前でしたが、どんどん車が行き交うし、マリンパルがあった波止場に浚渫船が横付けされ、岸壁工事が行われてるようです。新しいものが作られ始めています。

定点観測：清水地区の瓦礫（瓦礫回廊）

2011年9月17日

こちらの写真は
のべ5枚



増えていくばかりの
瓦礫でしたが、

2012年10月1日



今回、こちらも
アレアレ！

2012年11月19日



たくさんの重機が瓦礫に群がって、どんどん食べてるように見え、この地区の瓦礫がなくなるのも遠くないように思えました(海岸の分別瓦礫の山は高くなってますが)。

(2) 町中点描

* 瓦礫回廊奥の清水・新田地区仮設住宅に行く途中に、コンテナ・仮設のお店がある。



理容店・クリーニング店



ひわらび食堂



* 修復された岩壁に漁船が停泊



市場や製氷所・冷凍庫などの
港湾施設も随分できてきた。



町役場建設予定地

・T.P.(Tokyo Peil: 東京湾
平均海面)より8.5mも高く
盛り土する予定

山を削って造成し、その土で
盛り土するようだが、何年
掛かるか???

町は、先の見えない日常に
入ってきたように思える。

(3) グルメスポット、癒しの場所

* 藤中さんの案内で、二軒のお店で昼食を取りました。



穴子丼(春先には
殻ウニ丼も出る！)



海鮮丼(1200円)

* “希望の鐘” 仮設商店街のカフェ



藤中さんがいつも行ってるダイシン
& かふえさくら。私と丸山さんとで
作ったテーブルでコーヒーをどうぞ！
(この日はボランティアとして蓄音器と
SPレコードを持って蒞蓄を語る増田
教授に会いました。ここは出会いの場)



きぼうのかね商店街



女川町観光協会の
パンフレットより



マリンパル女川
おさかな市場



11/19 熊野神社より



コンテナ村商店街



蒲鉾本舗高政

どうですか？ 風光明媚で、新鮮な魚介類がおいしい女川、おみやげもいろいろあるし、
宿泊施設も随分復帰しました。ボランティアもいいですが、観光として“女川に行くべ”！

2. ボランティア報告 (1)津波で残った林さん宅：“奇跡の家”の調査

1) 経緯

- * 昨年4月に家財運び出しボランティア
- * 今年10月に立ち寄ったところ、林さんに会い、なぜ津波で残ったかを調べてほしいとの要望を聞いた
- * TUWVネットワークにて建築・土木関係者をお願い
- * 先輩の真尾さんが鹿島建設の専門家(倉持さん)を紹介

2) 調査

- * 事前に林さん宅の状況推移資料を送付
- * 11月19日に林さん宅を調査・ヒアリング
 - ・土台との緊結・筋交い等、極めてしっかりしている
 - 大工さんを褒めるべき
 - ・津波状況を東北大専門家に確認して報告書作成予定

3) 今後

- * 林さんはこの家を、ボランティアに来てくれた人達が10年後、立ち寄れる施設にしたい、と希望している
- * 一方、津波浸水地域の残存建屋取り壊しの話もあり、この報告書を使って、有効利用の方策を探ると思われる



2011年4月12日



2012年11月19日

左より、倉持さん、林さん、真尾さん、
伊藤、藤中さん

(2) 女川桜守りの会

1) 日本花の会による大漁桜の手入れ

- * 日本花の会、田中・田崎両氏が女川を訪れ、さくら品種の講習後、大漁桜の剪定・肥料遣り
- * 来年は、大漁桜50本を追加植え付け予定



2) 堆肥作り

- * 復興支援センター隣の旧幼稚園広場の、刈り取り雑草の処分に困っているとのことなので、堆肥作りを進言。町役場の許可も得て、桜守りの会が大漁桜の地植え時に使うべく、取り組むこととなった。



海岸清掃ボランティアに来た皆さんも手伝ってくれました



枠を作って堆肥の仕込み。チームしらかし華の会ノウハウを伝授。



新潟) 村上市から来た本間さん、7月以来の再会。ずっと一緒にやってくれました。

3) さくらたん切り株を大和に(11/20, 21)



さくらたん切り株で仏像を作りたいとの希望

この2本を大和に運搬



4) その切り株を京都へ(11/25, 26)

* さくらたんを使った仏像作りを、木工仲間、丸山さんの友人の小田(しょうだ)さんが引き受けてくれることになり、丸山さんと京都)綴喜郡井手町にある“たくみの里”に行った。



小田さんが自分で作った工房小屋
(左 丸山さん、右 小田さん)



工具とろくろ



* 小田さんは、京都伝統工芸大学で仏像彫刻を学び、神奈川の木工会社に勤めたあと、木地師として独立すべく、たくみの里に工房を開こうとしている若者。右は彼の作品：毘沙門天。

* 切り株はまだ生木のため、乾燥させながらの工程となるので、目標 2014年3月11日とすることにした。

3. 今後の予定

(1) チームしらかし華の会として

- * 来年春、日本花の会からの50本の大漁桜の植え付けの頃、今年挿し木したアジサイの苗をまた女川に届けましょう。
- * 復興支援センターに植えたアジサイは元気に育っていて、来年は花を付けるでしょう。できれば、センター隣の旧幼稚園広場の柵に沿ってアジサイを植えませんか？
- * ボランティア半分・観光半分で行きましょう。

(2) TUWV OBとして

- * 来年4月から、藤中さんが女川ネーチャーガイド協会を立ち上げ、周辺の山を案内してくれるそうです。
- * 来年9月のOB山行は、女川山脈登山にしませんか？

(3) 平塚高等職業技術校OBとして

- * 2014年に、仏像ができたなら、小田さんと一緒に女川に行きましょう。向こうのお寺(照源禅寺?)で入魂もしなければなりません。
- * その前に、女川観光に行きましょう。なんなら復興支援センターに
特技:木工でボランティア登録をしておきます。

宿泊は、いずれも女川温泉”華夕美“。万石浦を眺める露天が素敵なので。